

分野	科目名	配当年次	開講期	
専門基礎分野	公衆衛生学	3年次	前期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (30時間)	18時間	非常勤講師 元大学准教授	無	
	12時間	非常勤講師 元大学講師	無	
授業の概要	出生から死亡までの長い lifespan での様々な健康問題を社会医学的に考察していく。法律用語や健康指標、さらにその数値の変化も理解する必要がある。広範囲な領域なので、講義への集中が望まれる。講義は、パワーポイントで実施する。資料は、膨大になるので、整理整頓を要する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生の立ち位置と集団の健康を理解する。 2. 集団の健康の評価のための様々な指標（死亡率等）を理解する。 3. 医学（医療）と社会制度（法律）の関連を知る。 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	公衆衛生のゴール（公衆衛生の意義を知る）	講義	
	2	地域保健、医療制度と国民医療費	〃	
	3	疾病対策	〃	
	4	感染症とその予防	〃	
	5	人口統計（人口静態、人口動態）	〃	
	6	〃	〃	
	7	疾病構造の現状（死亡順位）	〃	
	8	悪性新生物と生活習慣	〃	
	9	環境の保全（環境問題の現状）	〃	
	10	産業保健	講義	
	11	〃	〃	
	12	食品衛生と栄養	〃	
	13	母子保健	〃	
	14	学校保健	〃	
15	疫学とスクリーニング	〃		
評価	講義終了後、国家試験形式の試験を実施する。筆記試験 100 点。			
参考文献	教科書：わかりやすい公衆衛生学、ヌーヴェルヒロカワ 参考書：国民衛生の動向			
備考				